

印
①

お茶の水女子大学学报

第 42 号

お茶の水女子大学庶務課発行

目	次
関係法令	1
人事	1
事	2
知	5
誌(抄)	6
報	6

関係法令

【法律】

- 一般職の職員の給与に関する法律等の一部を改正する法律 (法律第119号, 12月17日官報号外)
- 国家公務員災害補償法等の一部を改正する法律 (法律第125号, 12月17日官報号外)

【政令】

- 著作権法施行令 (政令第335号, 12月10日官報)
- 国家公務員宿舎法施行令の一部を改正する政令 (政令第347号, 12月26日官報)

【省令】

- 特許法施行規則の一部を改正する省令 (通商産業省令第112号, 12月12日官報)
- 著作権法施行規則 (文部省令第26号, 12月23日官報)
- 国家公務員等の旅費支給規程の一部を改正する省令 (大蔵省令第73号, 12月28日官報)
- 国家公務員宿舎法施行規則の一部を改正する省令 (大蔵省令第76号, 12月28日官報)

【規則】

- 現行の法律, 命令及び規則の廃止の一部を改正する規則 (人事院規則1-4, 12月17日官報号外)
- 給与簿の一部を改正する規則 (人事院規則9-5, 12月17日官報号外)
- 俸給の調整額の一部を改正する規則 (人事院規則9-6, 12月17日官報号外)
- 俸給等の支給の一部を改正する規則 (人事院規則

9-7, 12月17日官報号外)

- 初任給, 昇格, 昇給等の基準の一部を改正する規則 (人事院規則9-8, 12月17日官報号外)
- 退職者の給与の一部を改正する規則 (人事院規則9-13, 12月17日官報号外)
- 宿日直手当の一部を改正する規則 (人事院規則9-15, 12月17日官報号外)
- 通勤手当の一部を改正する規則 (人事院規則9-24, 12月17日官報号外)
- 初任給調整手当の一部を改正する規則 (人事院規則9-34, 12月17日官報号外)
- 期末手当及び勤勉手当の一部を改正する規則 (人事院規則9-40, 12月17日官報号外)
- 指定職俸給表の適用を受ける職員の俸給月額の一部を改正する規則 (人事院規則9-42, 12月17日官報号外)
- 調整手当の全部を改正する規則 (人事院規則9-49, 12月17日官報号外)
- 最高号俸等を受ける職員の俸給の切替え等に関する規則 (人事院規則9-53, 12月17日官報号外)
- 住居手当に関する規則 (人事院規則9-54, 12月17日官報号外)
- 規則の法的根拠の全部を改正する規則 (人事院規則1-0, 12月25日官報)

人事

○人事異動

○昭和45年12月16日

文部教官 (講師文教育学部) 石川 宏
助教授文教育学部に昇任させる

○昭和45年12月31日

文部事務官 (会計課) 高野 典子
同 (学生課) 鳥飼 範子
文部教官 (助手文教育学部) 野崎 衣枝

辞職を承認する

○昭和46年1月1日

高橋 貞子

文部教官（助手文教教育学部）に採用する

根本 心一

文部教官（助手理学部附属臨海実験所）に採用する

文部教官（教授理学部） 太田 次郎

学生部長に併任する

併任の期間は昭和47年12月31日までとする

評議員の併任を解除する

文部教官（教授理学部） 津山 尚

評議員に併任する

併任の期間は昭和46年9月30日までとする

○昭和46年1月11日

文部教官（附属中学校教諭） 清宮 和子

昭和46年1月10日限り任期満了により退職した

○非常勤職員

発令年月日	異動種目	氏名	所属	職名	任期又は任用 予定期間の終期	本務その他
45.11.9	採用	安食 繁 秀	施設	技能補佐員	46.3.31	汽缶室勤務
〃	〃	斉藤 清 一	〃	臨時用務員	〃	〃
45.11.30	辞職	中原 敦 子	文・地	教務補佐員		
45.12.1	〃	紋谷 牧 子	家・児	〃		
〃	採用	平井 吉 子	附 図	事務補佐員	46.3.24	
〃	〃	金子 晶 子	文・地	教務補佐員	46.3.31	
〃	〃	玉城 恵 子	〃	〃	〃	
45.12.28	辞職	佐藤 洋 子	会 計	事務補佐員		
45.12.30	〃	篠 和 枝	理・数	見 習 員		
45.12.31	〃	高橋 貞 子	文・哲	教務補佐員		46.1.1付助手に採用
〃	〃	菊地 健 一	文・事	見 習 員		
46.1.1	採用	石山 美智子	文・哲	教務補佐員	46.3.31	
46.1.4	〃	新井 澄 子	附 高	見 習 員	46.3.24	
〃	〃	高木 節 子	理・数	事務補佐員	〃	
〃	〃	舛友 浩	理・事	〃	46.3.31	
46.1.8	配置換	高安 司 奈子	理・数	見、習 員	46.3.24	附高から異動
46.1.16	採用	山本 邦 晴	文・事	〃	〃	

○学科主任・学内委員

○昭和46年1月1日

教 授 塩田三千夫

附属図書館運営委員会委員を命ずる

任期は昭和47年3月31日までとする

教 授 太田 次郎

附属図書館運営委員会委員を免ずる

○昭和46年2月1日

教 授 矢部 章彦

被服学科主任を命ずる

教 授 谷田 関次

被服学科主任を免ずる

学 事

○昭和46年度お茶の水女子大学学生募集要項（抄）

1 募集学科および人員

文教育学部	哲学科	史学科	地理学科	文学科			教育学科				人員計
				国語専攻	中国語専攻	英英語専攻	教育学専攻	表体専攻	現学専攻	音楽専攻	
20	20	15	30	10	30	28	15	12	180		
理学部	数学科		物理学科		化学科		生物学科		計		
	20		20		20		20		80		
家政学部	児童学科		食物学科		被服学科		家庭経営学科		計		
	35		27		30		28		120		

2 出願期間 2月1日(月)~10日(水)

(1) 検査教科目と試験科目

3 学力検査 3月3日, 4日および5日

注 太字の科目は志望学部(家政学部に限り, 第一志望の学科)の受験者全員の受験科目

区分	文教育学部		理学部		家政学部		
					児童学科	食物学科	被服学科
国語	現代国語 古典乙一 古典乙二	現代国語 古典乙一	現代国語 古典乙一				
外国語	英語 B } ドイツ語 } フランス語 } 1か国語選択	英語 B } ドイツ語 } フランス語 } 1か国語選択	英語 B } ドイツ語 } フランス語 } 1か国語選択				
数学	数学 I 数学 II B	数学 I, 数学 II B, 数学 III	数学 I 数学 II B	数学 I 数学 II B 数学 III	数学 I, 数学 II B ※数学 III		
理科	(なし)	※物理 B } 化学 B } 生物 } 2科目選択	(なし)	化学 B	※物理 B } ※化学 B } 左記 ※印 5科目 中 1科目 選択		
社会	(なし)	倫理・社会, 政治・経済, 日本史, 世界史 B, 地理 B 5科目中1科目選択	(なし)	(なし)	※日本史 } ※世界史 B }		

※ 物理学科(第1, 第2とも)志望者は必ず物理 B を含むこと。

注 家政学部の児童学科と家庭経営学科を第一志望とする者には, 別に小論文を課す。

(2) 実技検査

表現体育学専攻志望者(第一志望, 第二志望とも)に次の二種の検査を行なう。

- ダンス……与えられた基礎運動および創作
- 陸上競技, 球技, 器械運動のうちいずれか一つを選択,

その内容は次の通り

- 陸上競技……短距離走および走り幅とび
球技……バレーボールまたはバスケットボール
器械運動……平均台運動およびマット運動

音楽教育学専攻志望者(第一志望, 第二志望とも)に次の検査を行なう。

- 音楽理論
 - 旋律の聴音書取
 - 高校音楽 II 程度の音楽理論
- 声楽
 - 新曲(旋律の視唱)
 - イタリア古典歌曲(下記のうち当日指定の1曲を原語で歌うこと)
 - Sebben, crudele (Caldara 作曲)
 - Nel cor più non mi sento (Paisiello

作曲)

(3) Se tu della mia morte (A. Scarlatti 作曲)

3. ピアノ

- a. 初見演奏 (例えば, 8小節程度の簡易な楽曲)
- b. 自由選択曲 1 曲 (例えば下記の程度の曲)

(1) バッハ作曲 三声インヴェンション

(2) モーツァルト作曲 ソナタ イ短調
K. 310 第 1 楽章

(3) ベートーヴェン作曲 ソナタ 変ロ長調
作品 22 第 1 楽章

4. 学力検査日時割

日時・教科 目等 ★記号			3月3日(水)		3月4日(木)		3月5日(金)
			国 語	数 学	外国語	理 科 実 技 小 論文	社 会
文 教 育 学 部	体育・音楽 以外の学科 専 攻	★ A	国 語 10:00~ 12:00	数 学 13:00~ 14:30	外国語 10:00~ 12:00	実 技 13:00~	
	表現体育学 音楽教育学	★ B					
理 学 部		★ C	国 語 10:00~ 11:30	数 学 13:00~ 16:00	外国語 10:00~ 11:30	理 科 13:00~ 16:00	社 会 10:00~ 11:30
家 政 学 部	児童学科	★ D	国 語 10:00~ 11:30	数 学 13:00~ 14:30	外国語 10:00~ 11:30	小 論文 13:00~ 14:30	
	家庭経営学科	★ E				理 科 13:00~ 14:30	
	食物学科	★ F		数 学 13:00~ 16:00			
	被服学科	★ G		数 学 13:00~ 14:30		理 科 13:00~ 14:30	
	数学Ⅲの 選択者のみ	★ H				社 会 10:00~ 11:30	

5. 合格発表および入学手続等

(1) 合格発表

3月17日(水)の予定。

(2) 入学手続

4月6日(火)と7日(水)の2日間。

(3) 健康診断

4月6日(火)または7日(水)の予定。

○昭和46年度お茶の水女子大学専攻科学生募集要項(抄)

1. 専攻科名および募集人員

専攻科名	専 攻 名	募集人員	備 考
文教育学専攻科	体育学・音楽学専攻	若 干 名	

2. 出願期日

2月1日(月)から2月20日(土)までの間。

とがある)

2月24日(水)

3. 選考期日・日時割

学科試験・口述試験(このほか実技を行なうこ

専攻別		日 時	10:00~11:30 外 国 語	13:00~15:00 学 科 筆 記 試 験	15:10~16:10
体育学・音楽学 専攻	体育学を主とするもの		英・独・仏の内 1か国語	体育学・舞踊教育学	口述試験
	音楽学を主とするもの		〃	音楽学・音楽教育学	〃

4. 合格者発表

2月27日(土)午後本学内に掲示するとともに、本人に通知する。

〇昭和46年度お茶の水女子大学文教育学部編入学生募集要項(抄)

1. 募集人員

文教育学部 教育学科音楽教育学専攻 若干名

2. 願書受付期間

昭和46年2月1日(月)から2月20日(土)まで

3. 選考方法

学力検査及び出身大学調査書、健康診断書等を総合して決定する。

選考期日 2月23日(火)学力検査は次により行なう。

学 科	時間	9:00~10:30	11:00~12:30	13:30~15:00	15:00 から
教育学科 音楽教育学専攻		外国語科目 英・独・仏の内 1か国語を予め 選 択 届 出	一般教育科目の 内 心 理 学	専門科目の内 ピアノ・声楽 音楽理論	口 述 試 験

4. 合格者の発表 2月27日(土)の予定

〇昭和45年度奨学金について

昭和45年度奨学金受奨者が下記のとおり決定し、12月1日(火)本館学長室で授与式が行なわれた。

保井・黒田奨学金受奨者

所 属・氏 名	研 究 題 目
物理学科 助手 加藤真規子	大気拡散の基礎研究
化学科 助手 藤枝修子	熱分析法の研究

成田・石山奨学金受奨者

所 属・氏 名	研 究 題 目
被服学科 研究生 村山紘子	被服整理学の基礎研究

松平奨学金受奨者

所 属・氏 名	研 究 題 目
家庭経営学科 助手 大竹はるみ	日本における婦人労働について

〇昭和46年度フィンランド政府奨学金留学生の募集について

フィンランド政府では、昭和46年度政府奨学金留学生を下記の要項により募集しております。

1. 募集人員 1名

2. 専攻分野

人文科学、社会科学、自然科学および芸術

3. 給費期間

昭和46年9月~昭和47年4月(8か月間)

4. 奨学金

(1) 月額750フィンランドマルク(邦貨約65,000円)

(2) 授業料、入学金は免除される

(3) 国内研究費、学生保健書が支給される
ただし、往復の渡航旅費は支給されない。

5. 応募資格

(1) 大学を卒業している者、または本年3月卒業見込みの者

(2) 日本人で二重国籍を持たない者

(3) フィンランドの大学で勉学、研究を行なうのにじゅうぶんなフィンランド語、またはスウェーデン語、英語、ドイツ語の能力を有する者

(4) 心身ともに健全な者

6. 出願手続

通 知

応募者は出身、在学または在職の大学を通じて出願書類を3月9日(火)までに文部省大
学学術局長あてに提出する。

7. 選考

(1) 語学、面接試験

日時 3月19日(金) 午後2時

場所 駐日フィンランド大使館

(2) 選考試験に合格した者は、候補者として、
フィンランド政府に推せんされる。最終決
定は同政府が行なう。

以上詳細については、庶務課庶務係にお問い合わせ
ください。

日 誌(抄)

- 12月1日(火) 奨学金授与式、一般教育・教務合
同委員会、入試委員会、学寮委員
会
- 2日(水) 各学部教授会、研究科委員会(理)、
学長候補者第一次選挙、学生部長
候補者第二次選挙、学生委員会
- 3日(木) 学生委員会、学生連絡協議会、
- 8日(火) 学寮協議会
- 9日(水) 評議会、協議会、学生大会
- 10日(木) 家政学部実地視察、学生委員会、
院生協議会、昭和46年3月卒業・
修了予定の日本育英会奨学生に対
する奨学金返還説明会
- 12日(土) 学生会館臨時運営委員会
- 15日(火) 学寮委員会、附属学校運営委員会
- 16日(水) 各学部教授会、研究科委員会(理)、
学生部長候補者第三次選挙
- 17日(木) 学生会館臨時運営委員会
- 23日(水) 評議会、学長候補者第二次選挙
- 25日(金) 学生委員会、教職課程委員会、冬
期休業
- 28日(月) ご用納め
- 1月4日(月) 質詞交換会
- 8日(金) 授業開始
- 13日(水) 評議会、教職課程委員会
- 14日(木) 学生委員会
- 19日(火) 学寮委員会、一般教育委員会
- 20日(水) 各学部教授会、学長候補者第三次

選挙、協議会、就職懇談会

- 1月21日(木) 入試委員会、学生会館臨時運営委員会
- 25日(月) ラジオイントープ実験室運営委
員会
- 26日(火) 臨時教授会(家)
- 27日(水) 評議会、協議会
- 28日(木) 学生委員会、院生協議会

諸 報

○学長候補者の選考について

波多野完治現学長の辞任の申し出に伴ない、後
任候補者を選考するため三次にわたる所定の選挙
が行なわれた。その結果、本学家政学部谷田関次
教授が選考された。

○帰 国

文教育学部教授 河野 重男

文部省長期(甲)在外研究員として、社会経済
の発展と教育の関連に関する研究のため、連合王
国、西ドイツ、アメリカ合衆国へ出張中のところ、
昭和45年12月14日帰国した。

家政学部教授 稲垣 長典

琉球大学家政学科に対する指導助言のため、昭
和45年11月19日から出張中のところ、同年11月23
日帰国した。

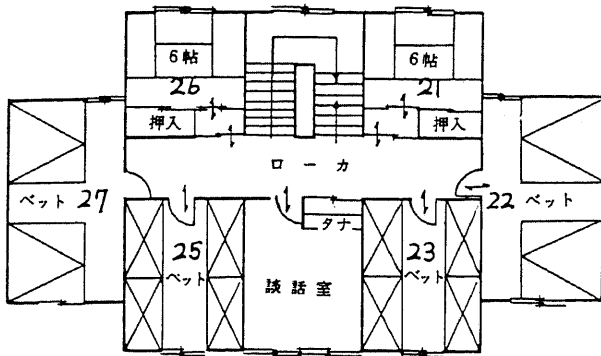
家政学部助教授 田辺 義一

沖縄洪積世人類遺跡調査のため、昭和45年12月20
日から出張中のところ、昭和46年1月10日帰国し
た。

○志賀高原体育運動場合宿研修センター宿泊棟

昭和45年12月にしゅん工した。鉄筋コンクリー
ト3階建、建面積164m²、延面積341m²で、宿泊定
員は62名、昭和46年1月25日から使用を開始しま
した。

使用申込は会計課管財係へ。

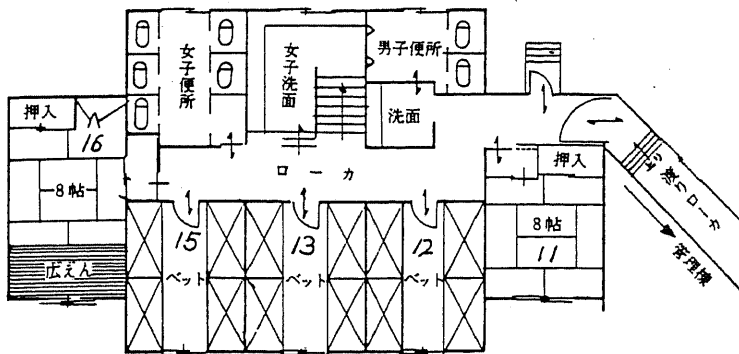


宿泊棟 2階

使用料その他下記のとおり

記	学内		学外	
	円			
使用料		50円		
維持費	100円		150円	
入湯税	25円		25円	
暖房料	75円		75円	
計	200円		300円	
食事代				
朝食	150円		夕食	250円

(昼食は希望により実費)



宿泊棟 1階

○職員住所
 [新・転任者住所]

[住所変更]

○電話架設

○電話番号変更

○大山寮の住居表示変更

〒173 板橋区仲町2番1号